

様式1

令和4年度 学校評価表

学校教育目標	確かな学力と豊かな心をもち、たくましく生きる子供の育成	～ かしこく・やさしく・たくましく ～
--------	-----------------------------	---------------------

a ミッション	中学校区で取り組む『志プロジェクト』の推進	a ビジョン	学んでよかった・通わせてよかったと認めていただける学校に
---------	-----------------------	--------	------------------------------

尾道市立西隣小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	k 二次評価			l コメント	m 改善案
				g 達成値	g 達成値	h 達成度	i 評価	イ	ロ	ハ			
確かな学力	かしこく	基礎・基本の 確実な定着  個に応じた指導の充実 ・実態に応じた指導の工夫 ・間違い直しの徹底  主体的・対話的で深い学びの推進 ・授業改善, 授業研究	・算数科の単元末テスト(知識技能)の平均点が85点をこえる児童の割合	80%	67%	84	B	・算数科の単元末テスト(知識・技能)の平均点が85点をこえる児童の割合は、学校全体で7%だった。	3			・指導の工夫や間違い直しの徹底など、きめ細かくよく取り組まれていると思います。 ・算数科の単元末テストの平均点が85点をこえた児童の割合が6%未満である3年生と6年生については、特にどこにつまずきがあるのか家庭での様子も含めて先生と保護者で共有し、強化していけたらよいと思う。 ・大変よいと思いますが、算数科(知識・技能)の平均点をこえる児童の割合を目標値の80%になるよう頑張ってください。 ・課題のある児童に対し、個別指導等で基礎学力の定着をお願いします。	・児童それぞれの課題に応じて学力を伸ばしていけるように、授業で個別最適な学びの実現を目指して授業改善を行い、算数科の単元末テスト(知識・技能)の平均点が85点をこえた児童の割合を増やしていく。 ・引き続き、算数科の単元末テスト(知識・技能)の平均点が60点以下の児童に対する個別の指導を行う。 ・単元末テストや昨年度の標準学力調査の結果などから、児童の課題を分析し、全体での指導に生かす。 ・研究授業だけでなく、模擬授業や普段の授業を教職員同士で積極的にお互いに参観し合うことで、授業力の向上を目指す。
			・算数科の単元末テスト(知識技能)の平均点が60点以下の児童の割合	10%	6%	100	A	・算数科の単元末テスト(知識・技能)の平均点が90点以下の児童の割合は、学校全体で9%であり、ほとんどの学年が達成することができた。 ・7月時点で、授業者として2回以上の授業研究や授業交流ができていた学級は4学級だった。全ての学級の教員が2回以上授業参観をすることができたが、授業者としての達成はできなかった。					
			・前期・後期各2回以上、授業研究や授業交流をする。	100%	70%	70	C						
豊かな心	やさしく	お互いの良さを認め合い、相手や時と場に応じた生活ができる児童の育成  声が掛け合えるつながり作り ・挨拶運動 ・ありがとう・いいね箱 ・異学年交流	・毎月を設定する挨拶のレベルを80%以上達成した児童の割合	80%	83.5%	104	A	・あいさつのレベルを達成した児童の割合は83.5%であった。(全校) ・レベル5の「ひとをええ」のあいさつは、低学年と高学年では達成率に差があった。 ・中学校区で、レベル4の「自分からあいさつ」をすることを特に焦点化して取り組んでいく。 ・7月は地域の方々にご協力いただいたことで、子供達の意欲も高まり、活気のある挨拶週間になった。特に色んな色の「がんばったねカード」が貼られている児童もいて、他学年とのつながりにも効果があった。	3			・工夫されてよく取り組まれていると思います。子供たちの意欲も高まり、活気のある挨拶週間になったのは素晴らしいと思います。挨拶が飛び交う環境が「全力・感動・挑戦」につながると思うので、継続してお願いします。 ・あいさつ運動は児童会を中心にとってもよく頑張っており、その成果が可視化される取組もよいと思うので、継続して頑張ってください。コロナ禍ではありますが、少人数の西隣だからこそ、学年以外の縦のつながり、地域の人々との交流を増やせるといいと思う。 ・挨拶は児童側から声をかけられ、大変よかったです。低学年も6月頃からよく挨拶するようになりました。	・7月に地域の方に協力していただいたことを今後も継続してお願いし、児童の挨拶を地域の方へも広げ、日常的に他者へ挨拶をすることが当たり前になるようにしていく。 ・頑張っている児童の「振り返りカード」の写真や挨拶をしている所の写真などを校内に掲示していく。 ・今後も継続して、月1回の挨拶週間を設定し、活気のある挨拶週間にしていく。
			・新体力テストの課題種目に関連した運動を毎日行った児童の割合(7月)	70%	82%	117	A	・学級で課題となる種目に関連した運動に毎日取り組んだ。 第1、4学年 「反復横とび」 第2、6学年 「長座体前屈」 第3、5学年 「腕力」 ・各学級で課題となる種目に関連した運動に朝の時間などで取り組むことができた。 ・課題となる種目に関連した運動に取り組めなかった学級があったので定期的に声かけを行っていく。 ・学年の実態に合った運動を模索しながら2学期以降も継続して取組を行っていく。					
確かな体の育成	たくましく	健康で たくましい 体の育成  継続的な取組による体力の向上 ・記録改善シートの活用 ・継続的な体力づくり	・新体力テストの課題種目に関連した運動を毎日行った児童の割合(7月)	70%	82%	117	A	・学級で課題となる種目に関連した運動に毎日取り組んだ。 第1、4学年 「反復横とび」 第2、6学年 「長座体前屈」 第3、5学年 「腕力」 ・各学級で課題となる種目に関連した運動に朝の時間などで取り組むことができた。 ・課題となる種目に関連した運動に取り組めなかった学級があったので定期的に声かけを行っていく。 ・学年の実態に合った運動を模索しながら2学期以降も継続して取組を行っていく。	3			・コロナ禍でさまざまな困難に直面されながらも体力向上に向けて日々取り組まれ、達成度も高くなりました。 ・今年度の満足では、これまでと違って歩く距離も伸び、運動する機会が減っている児童にとって体力の向上に関する取組につながったのではないかと。 ・体力テストで課題となった種目についてあるいは、取り組むのもよいと思う。 ・新型コロナウィルス感染症や新校舎増築工事等何かと制限がある中で大変と思いますが、課題種目や記録会に向け、継続して頑張ってください。	・引き続き、毎日の朝の時間などで課題種目に関連する運動に継続的に取り組んでいく。 ・体育の時間の指導方法を工夫し、45分中30分程度は児童の運動量を確保していく。 ・より効果の高い運動があれば全体で共有し、取り組んでいく。 ・運動会などの学校行事の実施方法を工夫し、より児童が主体的に運動を楽しめるようにしていく。

【自己評価 評価】  
A: 100% (目標達成)  
C: 60% (もう少し) < 80

B: 80% (ほぼ達成) < 100  
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。 ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。